

秋田公立美術工芸

短期大学

平成17年度単位互換履修対象授業科目一覧

(美術工芸短期大学)

No.	ページ	授業科目名	担当教員	単位数	学期	受入数	開講学部等	曜日/時限	備考
1	5-1	材料学	松本 研一, 他	2	前期	若干名	工芸美術産業デザイン	水/5	
2	5-2	CG・CAD演習	加賀谷 彰人	2	前期	"	工芸美術産業デザイン	火/5	
3	5-3	生活と情報	須藤 秀紹	2	前期	"	工芸美術産業デザイン	月/2	
4	5-4	美学	天貝 義教	2	前期	"	工芸美術産業デザイン	金/3	
5	5-5	西洋美術史	天貝 義教	2	前期	"	工芸美術産業デザイン	水/4	
6	5-6	絵画史特講	天貝 義教	2	前期	"	工芸美術産業デザイン	火/3	
7	5-7	比較文化論	井上 豪	2	前期	"	工芸美術産業デザイン	未確定	

開設学科	科目類	科目名	担当教員名	開設時期	分類	単位	授業形態
工芸美術	専門	材料学	松本・島屋 安藤・熊谷 堀場・竹田 小牟禮・平野	1年前期	必修	2	講義

履修上の注意

授業概要

工芸作品、製品を制作するには、造形の意図に最も適した材料（素材）の選択が必須の条件となる。そのため本講義では工芸の各分野で従来から活用されてきた材料（素材）や近年の開発素材等について、その種類、特性、用途などを解説する。

参考図書	「工芸材料・技術概論」	市橋敏雄著	大日本図書	「漆の文化」	室瀬 和美著	角川選書
	「技術シリーズ・ガラス」	江藤哲夫(他)著	朝倉書店	「金工の伝統技法」	香取正彦(他)著	理工学社
評価法	「技術シリーズ・木工」	上田康太郎(他)著	朝倉書店	「染織技術辞典」	土肥悦子(他)著	理工学社
	レポート			「染料の科学」	青柳太陽著	理工学社
				「陶芸の伝統技法」	大西政太郎著	理工学社

授 業 計 画

回	担当教員	内 容
1	松本 研一	木材（広葉樹、針葉樹）の種類、木の成り立ち、特性、用途
2	”	木材の性質と乾燥法、木材の製材と規格、木材の加工法
3	島屋 純晴	金属素材の用途別に見た、特徴
4	”	彫金、鍛金、鋳金等、技法別による金属素材の特性と適性
5	安藤 康裕	金、銀などの貴金属、銅を中心とした非鉄金属の特性
6	”	加工に伴う材料の変化に対する解説
7	熊谷 晃	漆について（漆の採取、漆の性質、種類）
8	”	漆の加工技法
9	堀場 たかね	繊維および糸の種類、特性、用途
10	”	”
11	竹田 園子	染料の種類、特性、用途
12	”	染色技法
13	小牟禮 尊人	ガラスの種類、特性、用途
14	”	ガラスの製造（原料から成形まで）
15	平野 庫太郎	陶磁の種類、特性、用途
16	”	陶磁の製造（原土から焼成まで）

開設学科	科目類	科目名	担当教員名	開設時期	分類	単位	授業形態
工芸美術	専門	CG・CAD演習	加賀谷 彰人	2年前期	選択	2	演習
履修上の注意							
<p>授業概要 「コンピュータ表現基礎」で習得したコンピュータに関する基本的知識および操作技術を踏まえて、3D画像の制作を行うことにより、コンピュータを用いた形態イメージの発想力および表現力を身につける。</p>							
<p>参考図書 Shadeの達人R (翔泳社) 評価法 出席および作品</p>							
授 業 計 画							
担当教員		内 容					
1	加賀谷	3DCGにおける三次元空間の概念					
2	〃	オブジェクトの作成・編集(1)					
3	〃	オブジェクトの作成・編集(2)					
4	〃	課題制作1(1)					
5	〃	課題制作1(2)					
6	〃	質感の表現(1)					
7	〃	質感の表現(2)					
8	〃	視点の設定					
9	〃	背景の設定					
10	〃	光源の設定					
11	〃	2Dドローイングソフトとの連携(1)					
12	〃	2Dドローイングソフトとの連携(2)					
13	〃	課題制作2(1)					
14	〃	課題制作2(2)					
15	〃	講評					

開設学科	科目類	科目名	担当教員名	開設時期	分類	単位	授業形態
工芸美術 産業デザイン	教養基礎	生活と情報	須藤 秀紹	2年前期	選択 必修	2	講義

履修上の注意

授業概要

コンピュータを用いたテクノロジーは、日用品や家電などに幅広く応用されており、もはやわれわれの生活に欠かせない存在となっている。IT化された製品の「使いやすさ」は、これらの技術をいかに自然に製品へと取り入れることができるかに依存しており、これはデザイナーにとっても大きな課題である。

本講義では、日常生活における、人とコンピュータ・テクノロジーの「望ましい関係」について考えることによって、デザイナーとして必要な基本知識の習得を目指す。

参考図書 誰のためのデザイン? (新曜社)、テクノロジー・ウォッチング (新曜社)

評価法 出席およびレポート、筆記試験

授 業 計 画

回	担当教員	内 容
1	須藤 秀紹	導入 ～ヒューマン・インタフェースの話し～
2	〃	アフォーダンスとは ～知覚環境の話し～
3	〃	アフォーダンスとは ～面の話し～
4	〃	D. A. ノーマンの考えるアフォーダンス
5	〃	使いやすさのためのデザイン原則 (1)
6	〃	使いやすさのためのデザイン原則 (2)
7	〃	前半のまとめ
8	〃	ヒューマンエラー (1)
9	〃	ヒューマンエラー (2)
10	〃	生態学的インタフェース
11	〃	ユーザ工学の基礎
12	〃	ウェブ・ユーザビリティ
13	〃	ユニバーサルデザインの基礎
14	〃	人間中心のデザイン
15	〃	まとめ

開設学科	科目類	科目名	担当教員名	開設時期	分類	単位	授業形態
工芸美術	専門	美学	天貝 義教	1年後期	選択	2	講義
履修上の注意							
授業概要 古代から現代に至る美の歴史的変遷を具体的事例によって確認しながら、その時代状況と理論的背景を考察し、美の意味についての理解を深める。							
評価法 筆記試験							
授 業 計 画							
回	担当教員	内 容					
1	天貝 義教	美術という言葉について					
2	”	ウィーン万国博覧会（1）					
3	”	ウィーン万国博覧会（2）					
4	”	工部美術学校について（1）					
5	”	工部美術学校について（2）					
6	”	『工芸志料』について（1）					
7	”	『工芸志料』について（2）					
8	”	テクネーからファインアートへの変遷（1）					
9	”	テクネーからファインアートへの変遷（1）					
10	”	『判断力批判』における美術の分類					
11	”	美についての理論：黄金比（1）					
12	”	美についての理論：ハルモニア（2）					
13	”	美についての理論：ロマン主義（3）					
14	”	まとめ					
15	”	筆記試験					

開設学科	科目類	科目名	担当教員名	開設時期	分類	単位	授業形態
工芸美術	専門	西洋美術史	天貝 義教	1年前期	必修	2	講義

履修上の注意

授業概要

古典・古代から二十世紀に至る絵画、彫刻、建築の変遷をローマ帝国の歴史を手がかりにしながら、空間概念の発展として総合的に概説する。

参考図書 アレクサンダー・ドルナー著「〈美術〉を超えて」勁草書房
 評価法 筆記試験

授 業 計 画

回	担当教員	内 容
1	天貝 義教	ドルナーの美術史観について
2	〃	クラシック（1）オーダーの登場
3	〃	クラシック（2）オーダーとヴォールトの結合
4	〃	聖なる空間（1）ビザンチン
5	〃	聖なる空間（2）ロマネスクとゴシック
6	〃	遠近法の確立 ルネサンス
7	〃	遠近法の発展 バロック（1）
8	〃	遠近法の総合 バロック（2）
9	〃	歴史主義の空間と機能主義の空間
10	〃	表現主義と抽象
11	〃	リアリズムの新たな試み（1）キュビズムと未来派
12	〃	リアリズムの新たな試み（2）ダダイズムと超現実主義
13	〃	抽象表現主義とポップ・アート
14	〃	パフォーマンス・アートとコンセプチュアル・アート
15	〃	筆記試験

開設学科	科目類	科目名	担当教員名	開設時期	分類	単位	授業形態
工芸美術	専門	絵画史特講	天貝義教	2年前期	選択必修	2	講義
履修上の注意							
授業概要 本講義では、西洋美術史の基礎知識の前提に立って、イタリア・ルネサンスから、二十世紀のミクスト・メディアに至る絵画表現の変遷について講述する。							
参考図書 視覚デザイン研究所編、「巨匠に教わる絵画の見方」 評価法 レポート							
授 業 計 画							
回	担当教員	内 容					
1	天貝 義教	イタリア・ルネサンスの絵画（1）					
2		イタリア・ルネサンスの絵画（2）					
3		北方ルネサンスの絵画					
4		バロックの絵画（1）					
5		バロックの絵画（2）					
6		ロマン主義の絵画					
7		古典主義の絵画					
8		写実主義の絵画					
9		印象主義の絵画					
10		後期印象主義					
11		象徴主義の絵画					
12		セセッションの絵画					
13		二十世紀の絵画（第二次世界大戦以前）					
14		現代の絵画（第二次世界大戦以後）					
15		まとめ					

開設学科	科目類	科目名	担当教員名	開設時期	分類	単位	授業形態
工芸美術 産業デザイン	教養基礎	比較文化論	井上 豪	2年前期	選択	2	講義
履修上の注意 教科書を使用しないので、各自注意してノートすること。 また授業は一回完結型で進めるので欠席に注意。							
授業概要 仏教美術を中心にアジア各地の美術表現を読み解いていく。図像イメージの文化的背景、美に対する様々な価値観など、時代や地域によって大きく違う「世界の常識」について考えていきたい。							
参考図書 田辺勝美『ガンダーラから正倉院へ』 林良一『シルクロード』 杉原たく哉『中華図像遊覧』 王敏・梅本重一『中国シンボル・イメージ図典』 澤田瑞穂『芭蕉扇』 植木久行『唐詩歳時記』 ほか							
授 業 計 画							
担当教員		内 容					
1.	井上 豪	序・異文化交流がもたらす図像の変遷について					
2.	〃	「綺麗」と「侘び」の固定観念					
3.	〃	磁器をめぐる様々な「美」の誕生					
4.	〃	聖地信仰による図像の伝播					
5.	〃	死後の世界～仏教死生観と道教死生観					
6.	〃	五重塔の本来の姿					
7.	〃	君子と仏像					
8.	〃	極楽浄土の魅力と誘惑					
9.	〃	仁王とヘルメス					
10.	〃	邪鬼と崑崙奴					
11.	〃	飛行イメージの表現					
12.	〃	インドの龍と中国の龍					
13.	〃	仏教西漸説					
14.	〃	物差が伸びる話					
15.	〃	同心結とは何か					
基本的には以上の内容を予定しているが、変更もあるので了承されたい。							